

米国環境保護庁
ワシントンD.C.20460

大気放射局

2018年3月16日

ENERGY STAR®画像機器パートナーまたは他の関係者各位

このレターをもって、米国環境保護庁(EPA)は ENERGY STAR 画像機器バージョン 3.0 適合基準第 1 草案及び試験方法第 2 草案を発表する。市場浸透率ほぼ 100%を有する強力な ENERGY STAR 基準は、さらなる省エネの可能性を特徴付けて、高い省エネ効果を有する画像機器製品を消費者が効果的に差別化することができる。

EPA は試験パラメータ、紙使用想定量、及び適用範囲にフォーカスした論点整理を昨年発表し、試験方法第 1 草案で、これら全てのトピックスに関し関係者からの意見を求めた。EPA はこの取り組みを反映して、適合基準第 1 草案及び試験方法第 2 草案を発表する。バージョン 3.0 適合基準第 1 草案には以下の主要項目を組込んでいる。

プロ用画像機器:

EPA は ISO ワーキンググループが開発する試験方法が、これらの製品の負荷サイクル(duty cycle)をより良く表わすことを知った。そこで、EPA はこの適合基準第 1 草案をもって、これらの製品のより適切なアプローチに関し、関係者のフィードバックを要請する。これは関係者の意見に基づいてプロ用画像機器に対する新しい定義の提案すること、ISO 基準 21632 の最新バージョンに基づき更新した試験方法の要件を提案すること、さらにこれらの製品に関連する追加エリアに対処することも含んでいる。試験方法が策定されれば、関係者には新しい試験方法を用いて得たデータを提供し、レベル開発が期待される。新しいデータを受け取るタイミングにも依るが、この作業により今後、バージョン 3.1 への改訂を必要とすることも考えられる。暫定的ではあっても関係者はプロ用製品の ENERGY STAR 適合を取得することに関心を示すかもしれないと EPA は考えており、代替の試験方法を確定し新しい負荷サイクルに基づいてデータを受け取りレベルセットするまでは、プロ用画像機器を ENERGY STAR で適合できるよう現行の構成を維持することを EPA は提案している。

適用範囲:

複数の関係者が ENERGY STAR の適用範囲から複写機とファクシミリを除外することを提案して来ており、EPA はこの変更を行った。ENERGY STAR 適合製品に関しては現在、たった 16 件の製品しかなく、2つの区分で 2 件の製造事業者によるもので、しかも 2013 年以降は製品を認定していない。

画像機器適合基準:

TEC 製品に対する ENERGY STAR 要件が改訂され、これらの区分中の製品の差別化がされた。ほとんどの製品の製品速度を含め、それぞれのセグメントで製品の上位 4 分の 1 が特定された。OM 製品に対

する ENERGY STAR オンモード基準については、市場規模、これらの製品のエネルギー消費量が相対的に少ないこと、また現行の ENERGY STAR レベルを超えて利用できる追加の省エネ量が小さいことにより、今回は改訂しなかった。EPA は下記のとおり、初期設定スリープ移行時間及び最大マシン移行時間の更新を提案する。EPA は基本許容値の中にスキャナ許容値を組み入れることを提案した。更に、OM 基準を欧州連合(EU)が採用した基準と調和させたいという要望及び 2 つの許容値の必要性に関しコメントを要請する。最大オフモード消費電力要件は EU 要件-2019 年版と調和させた。

最大マシン移行時間:

関係者の要求により、EPA は OM 製品及び TEC 製品の両方に対し、最大マシン移行時間をドイツのブルーエンジェル要件と調和させることを提案している。

両面印刷機能:

16 ipm (カラー)及び 11 ipm (モノクロ)以上のプリント速度を有する製品に対し両面印刷機能要件を拡張することは、本質的で潜在的な省エネ効果をもたらすことを EPA は発見した。EPA は、これらの区分中のほとんどの製品は既に両面印刷機能を提供しているが、市場の一部にはまだこの機能を提供していないものがあることに留意した。

紙使用想定量:

試験方法第 1 草案で指摘したように、EPA は現行の紙使用をより正確に考慮するための紙使用想定量を更新することに関心がある。ここで提案した紙使用想定量は完璧に正確という訳ではないが、現行のそれに比べ実際の紙使用想定量にはるかに近いと信じている。EPA は関係者がこの紙使用想定量に関する更なる追加データを提供してくれることを要望する。

試験方法:

検証試験を実施した後で、EPA はネットワークアクティビティ試験を試験方法から除外した。特定のユーザー開始要求、例えば、印刷ジョブ、デバイス・スキャン・ホルダーや管理用コンソールへの HTTP アクセスなどが、消費電力を増大させることが分かった。しかし、これらのアクティビティは、機器がスリープ状態にある動作時間外で発生するとは思われていなかった。

コメント提出

EPA は添付したバージョン 3.0 適合基準第 1 草案に対する関係者の意見を歓迎する。関係者は 2017 年 4 月 10 日までに imagingequipment@energystar.gov へコメントを提出願いたい。特段の要求がなければ、コメントは全て ENERGY STAR 製品開発ウェブサイトに掲載する予定である。

関係者ウェブ会議

EPA はウェブ会議を 2018 年 3 月 28 日東部標準時午後 1~3 時開催し、そこでこの論点ガイドに関する質問に回答する。出席を予定しているならばここから登録すること。

EPA、産業界、及び他の関係団体とのアイデア及び情報の交換は、ENERGY STAR の成功にとり不可欠であ

る。基準及び会議資料はEメールで配信しENERGY STAR ウェブサイトに掲載する。この基準に関するEPAの進捗状況を調べるには、製品開発部門のウェブサイト <http://www.energystar.gov/revisedspecs> を検索し「画像(Imaging)」をクリックすること。

質問又は懸案事項については、小職(Fogle.Ryan@epa.gov. 又は [202-343-9153](tel:202-343-9153))もしくは ICF の Matt Malinowski(Matt.Malinowski@icf.com. 又は [202-862-2693](tel:202-862-2693))に連絡のこと。画像機器に関するその他の質問についてはどんなことでも、imagingequipment@energystar.gov に連絡されたい。ENERGY STAR プログラムへの変わらぬ支持に感謝する。

Ryan Fogle

ENERGY STAR IT 及びデータセンター製品 EPA マネージャー